

地域と学校の協働通信

…開かれた学校づくり…

令和8年3月 | VOL.27

発行：武蔵野市教育部指導課

01

今年度も、まとめの時期が近づいてきました。各校で取り組まれた「開かれた学校づくり協議会」では、学校の現状把握から課題を探り、熟議を重ねながら地域と学校が一体となった運営を進めてきました。学校によっては、すでに協議会委員から提案された内容等が次年度の学校運営に反映され始めています。今後、その内容等が「開かれた学校づくり協議会」の承認を受け、次年度の教育活動が始まります。

子どもたちの未来のため、よりよい地域を育むため、今年度のまとめと次年度準備に入っています。



～学校における働き方改革の一層の推進に向けて～

「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律」が施行され、それに関わって令和8年4月1日より校長が作成する「基本的な方針」に「業務量管理」と「健康確保措置」の内容を含めることが示されました。

「開かれた学校づくり協議会」では、新たな視点である学校における働き方改革の取組内容やその実施状況の報告を含めて協議し、学校が示す基本方針を承認することになります。学校、保護者、地域住民等の役割分担のあり方や業務の優先順位を踏まえた精選・見直しなどについて意見を述べ、学校運営のパートナーとしての役割を進めていくことになります。

トピック 01

年度のまとめと
次年度に向けて

トピック 02

12/18 開かれた
学校づくり協議会
第2回会長会

1/29 地域コーデ
イネーター連絡会
開催

トピック 03

学校運営協議会
機能を有する
「開かれた学校づく
り協議会」の各校
の様子

02

「第2回 開かれた学校づくり協議会 会長会」

12月18日（木）に第2回会長会が開かれました。今回は、チャレンジクラスの募集について、また、次年度から始まる学校の業務量管理・健康確保措置等についての説明を教育委員会から行いました。その後、「次年度に向けた展望」と題しまして、「開かれた学校づくりに向け、子どもと地域をどう参画させていくか」について、グループ協議に取り組みました。会長会での情報を基に、各校で一層工夫された協働体制の推進が期待されています。

「第3回 地域コーディネーター連絡会」

1月29日（木）に、第3回地域コーディネーター連絡会を開催しました。今回は、各校の取組をまとめた資料を参考に「他校の活動の共有」をテーマとして、今年度の振り返りが行われました。また、新たな体制での「開かれた学校づくり協議会」が、地域での活動にどのような影響を与えたかなどの視点や地域での受け止め、今後の課題について協議されました。

・・・毎回、活発な意見交換や情報共有が行われています・・・



03

学校運営協議会機能を有する 「開かれた学校づくり協議会」の 各校の様子

01 井之頭小

学校と保護者・地域がどう円滑に関わりをもてるか、学校アンケートや今後の校舎改築に向けた課題等について、意見交換が行われた。

02 大野田小

5年生との交流給食では子どもたちの意見を直接聞き、理解を深めた。また、地域の課題を踏まえて協議会主催の夏祭り企画を進める。



03 第五中・第五小・関前南小

第五小学校・関前南小学校が新校舎となった第五中学校に集まり、ブロック会を開催。それぞれの取組の紹介とともに、この地域で協働できる活動について意見出しを行った。第五小の仮設校舎が隣接していることを好機とらえた教育活動や地域イベントも検討される。

